

生協名	対応
<p>広島医療生協</p>	<p>東北関東大震災支援ニュースNo.1 (3/14 付) を発行 第 2 回 救援対策本部開催 (3/14) (内容)</p> <p>① 現地の診療状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療支援は、坂総合病院を拠点におこなわれ、職員自らも被災しながら、ぬれた下着、靴下のままで日夜診療にあたっている。ライフラインは絶たれたままで、ガソリン、重油（非常電源用）、食料などが不足。以前共立病院におられた、立川相互病院の山田先生も現地で診療にあたられている。 ・ 医療福祉生協連と全日本民医連が共同して支援 ・ 救援物資については、福島県内は福島医療生協、宮城県内は庄内医療生協が拠点となる。 ・ 医療支援は、坂総合病院が拠点。 ・ 現地への輸送手段ですが、現在東北道は緊急車両しかとおれない状態となっており、警察の許可証が要。 <p>② カンパについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共立病院：今日一日で 14 万円のカンパ ・ 職員には、自分の給料の 1 日分程度を目安にカンパを訴えている。 <p>③ 支援物資について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援物資は、本部に集中していただき、置き場所は 4 号館大集会室とする。対策本部としては、生協本部財政から一定の予算を計上し支援物資を購入するほか、職員、組合員に呼びかける。 <p>④ 事務職員に救援ボランティアを募集。</p>
<p>生協ひろしま</p>	<p>3月14日（月）「東日本大震災支援本部」を設置 ※詳細は添付文書参照のこと。 [第1回 災害支援本部会議でのその他の決定事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害支援方針：日本生協連及び行政からの要請に基づいて、可能なかぎりの人的支援、物的支援をとおして、被災者及び、被災生協の支援をおこなう ● 日本生協連からの要請に基づいて、一両日中に準備が整い次第、職員 10 名からなる支援隊を日生協桶川 DC(埼玉県桶川市)に派遣することを決定。支援隊は、トラック 5 台に分乗し、生協ひろしまからの支援物資を届け、桶川 DC を拠点として各被災地への支援物資の搬送などを担う。⇒★3月15日現在、内容再検討中。 ● その他決定事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 関東以東への出張の自粛すること。 ② 被災地での通信資源確保のため不要・不急の通信を自粛すること。 ③ 節電への協力を組合員に呼びかけること。 ④ 支援募金の組合員への呼びかけ、職員も積極的に行うこと。